

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		墓地等許可証明事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050802000245
						単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名		0508 生活環境の保全				課長名		生活環境課
	政策名		05 快適な暮らしのまちづくり				グループ		環境公害対策G
	施策名		08 生活環境の保全				担当者名		
	手段名		02 ②環境保全活動の推進						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠	墓地、埋葬等に関する法律					単年度繰返し (平成12年度~)			
	[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>市内にある698箇所を記した墓地の台帳管理や墓地管理者の変更や異動などの受付やお骨の移動に伴う改葬届の申請に伴う許可証の交付などを行っている。</p> <p>高齢化が進む桜川市においては、親族が都会などで生活して墓地だけが市内にある場合が多く、これに伴う改葬が多い。</p>		<p>経営許可申請に基づき調査し関係課との協議を行い、許可証を交付する。</p> <p>改葬許可申請については、申請内容を確認し許可証を発行する。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
改葬許可申請があった時、申請書に不備がないか確認し許可証の交付を行う。	申請件数	件	44.00	49.00	49.00	49.00	49.00
	許可件数	件	44.00	49.00	49.00	49.00	49.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
申請者	申請者数	人	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
適正な墓地の造成、迅速正確な改葬許可証の交付を目指す。	許可件数/申請件数	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	13	15	15
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	-13	-15	-15
		事業費計 (A) 千円	0	0	0
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0	合計	0	0

事務事業名	墓地等許可証明事務	事務事業No.	50802000245	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
墓地の改葬許可については、墓地、埋葬等に関する法律施行時から実施している。また、墓地、埋葬等に関する法律の第10条関係（墓地等の経営許可・変更許可）が平成12年4月より知事の権限に属する事務を市町村が処理してきたが、平成23年度の国の一括法により平成24年4月1日から市に権限委譲された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
改葬に関する相談・共同墓地の代表者変更の手続きについて					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 適正な墓地の造成を目指すことにより、快適な住環境の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法律により行う事務のため。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 適正な申請に許可をするものであるため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の権限で行う事務のため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費なし。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民全体にかかる事務である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）																		
(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 共同墓地等で墓地管理者の変更があっても市役所に届け出がない場合がある。																	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 □ 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 □ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる □ 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持		○	×														
	低下	×	×	×														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																		
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>